

石川県金沢市兼六元町 1 番 1 号
一般財団法人 北陸私鉄バス労働会館
理事長 南 高 広

事業報告書

当一般財団法人「北陸私鉄バス労働会館」は北陸地方の私鉄バス産業に働く労働者をはじめ、石川県下の産業ならびに労働に関する知識の啓発・福祉・教養の向上に努めてまいりました。

まず初めに今回の事業報告は（平成 27 年 7 月 1 日から平成 28 年 6 月 30 日）の一年間です。

収入では、本年度 14,055,384 円昨年度 15,163,659 円となり 1,108,275 円減となっております。対比致しますと、92.69%

支出では、本年度 16,328,879 円昨年 15,242,488 円となり 1,086,391 円増となっております。対比致しますと、107.13% 収入減の要因は二階テナントの廃業となっております。支出の要因は、金沢市景観条例の為、壁面懸垂幕撤去費用と一階庇防水修繕工事の為です。

正味財産増減表では、平成 27 年度 2,273,495 円の減となっております。

公益目的収支差額は、今年度は 1,396,870 円 公益目的収支差額の合計額は、3,112,376 円となっており、残額は 55,503,804 円。完了予定事業年度は、平成 70 年 3 月 31 日は変更ありません。

労働者の若年層を中心に、広く門徒開け、ホームページや北陸地連の窓口を設け、青年女性部の活動を根底とし一般の方々にも労働者の権利や教育、制度や組合活動を学ぶ機会を作り、労働者としての知識を学んでもらおうと思ってセミナーを年間 7 回開催してまいりました。

昨年と同額を石川県勤労者体育協会に 10 万円寄付し、スポーツ交流を通して労働者の福利厚生に寄与致しました

今後も当会館としての使命を果たしながら健全な事業として継続するための努力を重ねていきたいと考えております。

1. 会館運営にあたり、老朽化による修繕など極力経費節減に努めてまいりました。さらに一階・二階テナントの入居募集にあたって来ましたが、まだ入居には至っておらず、不動産さんを仲介に入れ継続的に募集していきます。震災を契機とする電力供給不足や省エネルギー対策一環として、室内温度を夏は高め（28度）クールビズを実践し、冬は低め（20度）に設定、周知に啓蒙し、環境問題に取り組んでまいりました。
2. 青年女性部員に活動教育として、7回講座を実施し、労働運動と青年女性活動や、今後の労働活動の基礎を教育してきました。

	開催日	講座名	講師名	参加人数
1回	平成27年 7月14日（火）	労働運動と青年女性活動	北陸地連書記長 藤井 光行	39名
2回	平成27年 9月11日（金）	労働法改悪阻止に向けて	連合石川副事務局長 半田 宏志	27名
3回	平成27年11月13日（金）	初級労働講座「組合運動について」	北陸会館理事 窪田正尚	23名
4回	平成27年12月11日（金）	北陸新幹線開業後の二次交通について 分散会「交通政策の必要性」	北陸会館理事 窪田正尚	28名
5回	平成28年 1月22日（金）	育児について	連合石川副事務局長 半田 宏志	22名
5回	平成28年 2月12日（金）	今日の政治状況と第24回参議院選挙について 安全保障法の危険性と憲法改悪の動き 16春闘情勢と組織強化	民主党石川県連合 代表 近藤和也 小松かがやき法律事務所弁護士 川本 樹 北陸会館理事 南高広	45名
7回	平成28年 4月13日（水）	社会保障関係について	北陸地連書記次長 山田 洋秋	40名

3. 石川県勤労者体育協会に10万円寄付し、労働者のスポーツ交流を通しまして労働者の福利厚生に寄与致しました。